

令和7年度 第24回

草津市子ども環境会議

報告書

くらしにひとくふう サステナブルな未来を つくろうみんなで!



情報発信の部 (YouTubeでの発信)

学校、子どもエコクラブ、環境活動をしている団体などの
取組を動画で募集し、YouTubeで発信しました。

参加グループ

子ども
6グループ

TANAKAMI子ども環境クラブ
志津小学校4年生
新堂中学校ESD実行委員会「THEびわこSystems」

目田グリーン(びわこ豊稔の郷)
目田パープル(びわこ豊稔の郷)
目田ピンク(びわこ豊稔の郷)

大人
11グループ

アオバナ染めておまもり作り
一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク
株式会社がんさん
草津市温暖化対策室
草津市資源循環推進課
草津市地球冷やしたい推進協議会

草津でホテルを楽しむ会with草津でてるてるクラブ
ごみ問題を考える草津市民会議
廃棄物ハスターズ
マザーレイクゴールズ推進委員会事務局
(滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課)
令和7年度第24回草津市子ども環境会議実行委員会
(五十音順、敬称略)



草津ライオンズクラブ 記念品

草津ライオンズクラブから、今回の草津市子ども環境会議に出展したすべての子どもグループに「草津ライオンズクラブ子どもエコ奨励賞」が贈られました。また、「交流の部」の子ども参加者には、ホタテ貝殻粉末等のバイオマス由来材料を配合された消しゴムが、「交流の部」「展示の部」会場来場者には紙ホルダー「プレコ」が記念品としてそれぞれ贈られました。



バイオマス由来材料を配合した消しゴム



子どもエコ奨励賞



紙ホルダー「プレコ」

お問い合わせ | 草津市役所 環境経済部 環境政策課 環境政策係
TEL:077-561-2341 FAX:077-561-2479 E-mail:kankyo@city.kusatsu.lg.jp

■主催: 令和7年度第24回草津市子ども環境会議実行委員会
■共催: 草津市、国立研究開発法人国立環境研究所
■後援: 環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局、公益財団法人日本自然保護協会、公益財団法人環境イノベーション情報機構、NHK大津放送局、京都新聞、BBCびわ湖放送、滋賀県、滋賀県教育委員会、草津市教育委員会
■協賛: 草津ライオンズクラブ

令和7年度 第24回

草津市 こども環境会議

くらしにひとくふう サステナブルな未来を つくろうみんなで!

草津市は、2001(平成13)年3月に「こどもエコクラブ全国フェスティバル2001 in びわこ・くさつ」の開催市となりました。この盛り上がり継続し、こどもたちの環境保全活動を支援するため、同年8月に第1回草津市こども環境会議を開催しました。その後も、こどもと大人が身近な環境について一緒に話し合い、学校や市民団体、企業などが日ごろの環境の取組を発表・交流する場として毎年実施しています。今年度は「くらしにひとくふう サステナブルな未来を つくろうみんなで!」をテーマに、「交流の部」「展示の部」「情報発信の部」の3つのプログラムで開催しました。



石川俊之 実行委員長

<開会セレモニーより>

初めて参加してくれたみなさん、ようこそ。そして、また戻ってきてくれたみなさん、お帰りなさい。

ここにいる多くの人が、日ごろから環境のために活動していると思います。すでががんばっている人同士が集まると、どんな意味があるのでしょうか。自分とは少し違う考え方や、違う取り組み方に会おうはずです。

環境を大切にしたいという気持ちは同じでも、方法はひとりひとり違います。違いを知り、認め合うことが、ここに集まる大きな意味です。交流を通して、活動が広がったり、周りの人に新しいヒントが生まれるかもしれません。

今日の合言葉は、「くらしにひとくふう サステナブルな未来を つくろうみんなで!」「く・さ・つ」になっていますが、もう一つ私から提案をします。「お互いを知り、お互いに広がり、お互いに一歩先を考えてみよう!」「お・お・お」です。これまで協力して活動してきたみなさんなら、初めて会う仲間とも協力できるはずですよ。

それでは、ただいまより「第24回 草津市こども環境会議・交流の部」を開催します。みなさん、一緒につなげ、広がっていきましょう。



交流の部

令和8年(2026年)2月1日(日)
くさつエコスタイルプラザ

～ タイムテーブル ～

- 13:00 開会セレモニー
- 13:15 エコ活動取材ラリー
- 14:55 こどもと大人の環境井戸端会議
- 15:45 表彰式・フィナーレ大合唱・閉会セレモニー

総合司会:GINLALA(ぎんらら 音楽ユニット)さんにいただきました。



LALA(菅野らら) GIN(山崎ぎん)



橋川 渉 草津市長

<開会セレモニーより>

皆さん、こんにちは。
本日は、小学生、中学生の皆さんをはじめ、家庭、地域、大学、企業などから、多数の御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

この会議は2001年より始まり、環境学習の促進を目的として、毎年多くの方々にご参加をいただいております。今年度も昨年度と同様に、交流の部・展示の部・情報発信の部の3部構成で開催されます。今年度から、国立環境研究所のご協力のもとで草津市との共催で開催いただけることとなりました。互いに交流されることで、環境学習や環境活動の視野をより一層広げていただけるものと考えております。ゼロカーボンシティを宣言している草津市におきましては、自然環境に興味や関心を持ち、皆さんの生活習慣の中で、気付いたことから、できることから始める「環境文化」が根付いてきていると考えております。

今回のサブタイトル「くらしにひとくふう サステナブルな未来を つくろうみんなで!」にもあるとおり、持続可能な社会にするために、この会議のなかから、さらなる一歩をつなげていただくことを願っております。

結びに、第1回から協賛をいただいております草津ライオンズクラブの皆様、運営に御尽力いただいております実行委員の皆様、そして、日頃こどもたちの活動を御支援いただいております市民団体や企業、学校関係者の皆様方に、厚くお礼申し上げますとともに、今後も未来を担うこどもたちと一緒に、環境学習に取り組み、応援してまいりますよう、お願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

エコ活動取材ラリー

今年は、こども70グループ30団体、大人36グループ35団体の計106グループ65団体から出展があり、会場に参加した皆さんは、直接お互いの活動を取材するとともに、出展されている作品にコメントを貼ったりして、それぞれのエコ活動への取組を交流することができました。

出展団体

こどもグループ

TANAKAMIこども環境クラブ
あおむしくらぶ
あおむしくらぶ「十禅寺川いきもの調査隊」
あおむしくらぶ「とびだせ！いきもの調査隊」
老上ふれあい農業校
大津市立小野小学校
ガールスカウト滋賀県第12団
笠縫東いきもの自然学校 いきものグループ
笠縫東いきもの自然学校 草花グループ
笠縫東いきもの自然学校 ほたるグループ
かわeco
草津市立老上小学校 5年1組
草津市立老上小学校 5年2組
草津市立老上小学校 5年3組
草津市立老上小学校 5年4組
草津市立老上中学校
草津市立老上西小学校5年
草津市立笠縫小学校

草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊1-A
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊1-B
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊1-C
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊1-D
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊2-A
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊2-B
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊2-C
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊2-D
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊3-A
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊3-B
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊3-C
草津市立笠縫東小学校かさがびが生き物たんけん隊3-D
草津市立草津小学校草津小424
草津市立草津第二小学校
草津市立志津南小学校 5年2組A
草津市立志津南小学校 5年2組B
草津市立志津南小学校工工委員会Aチーム
草津市立志津南小学校工工委員会Bチーム

草津市立洪川小学校1-1
草津市立洪川小学校1-2
草津市立洪川小学校1-3
草津市立洪川小学校2-1
草津市立洪川小学校2-2
草津市立洪川小学校2-3
草津市立洪川小学校3-1
草津市立洪川小学校3-2
草津市立洪川小学校3-3
草津市立洪川小学校4-1
草津市立洪川小学校4-2
草津市立洪川小学校4-3
草津市立洪川小学校5-1
草津市立洪川小学校5-2
草津市立洪川小学校5-3
草津市立洪川小学校6-1
草津市立洪川小学校6-2
草津市立洪川小学校6-3

草津市立高穂中学校科学部
草津市立玉川小学校 5年生
草津市立玉川中学校 2年生地域分野
草津市立玉川中学校 3年生ピトーブ分野
草津市立南笠縫小学校
草津市立矢倉小学校 矢倉4-1
草津市立山田小学校 5年生
香こち-kokochi-
こどもエコクラブ全国事務局（(公財)日本環境協会内）
志津ワンパクSMT
米原市立大東中学校科学部
目田グリーン（びわこ豊稗の郷）
目田パープル＆ピンク（びわこ豊稗の郷）
守山市立守山南中学校科学部
志津小学校 4年生
新堂中学校ESD実行委員会「THEびわこSystems」
（五十音順、敬称略）



大人グループ

IVUSA 滋賀草津
NPOびわ湖環境
NPO法人 琵琶湖ネット草津
アオバナ染めでおまもり作り
遺跡と秋の育む玉川まちづくり推進会議 まち環境部会
一般社団法人 環境文化フォーラム
一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

大阪ガスネットワーク株式会社 京滋事業部
株式会社がんさん
川崎重工業株式会社
環境政策課
環境ボランティア
草津湖岸コハクチョウを愛する会
草津市温暖化対策室

草津市資源循環推進課
草津市地球冷やしたい推進協議会
草津塾
草津でホテルを楽しむ会with草津でてるクラブ
草津ライオンズクラブ
公益財団法人 淡水環境保全財団
国立研究開発法人 国立環境研究所

国立研究開発法人 国立環境研究所 琵琶湖分室
湖南企業いきもの応援団
ごみ問題を考える草津市民会議
滋賀県樹木医会
しがネイチャーポジティブネットワーク
（滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課生物多様性戦略室）
志津里山自然学校運営委員会

ダイキン工業株式会社 滋賀製作所
大五産業株式会社
独立行政法人水資源機構 琵琶湖総合管理所
日東電工株式会社 滋賀事業所
廃棄物パスターズ
ぱたぱたふぁーむ
彦根地方気象台

マザーレイクゴールズ推進委員会事務局
（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課）
三重県環境学習情報センター
令和7年度第24回
草津市こども環境会議実行委員会
（五十音順、敬称略）

こどもと大人の環境井戸端会議

今年も、会場の参加者が4色のチームに分かれて、草津の環境のために自分たちにどのような行動・取組ができるか、みんなで意見を出し合っ、考えを深める「こどもと大人の環境井戸端会議」を行いました。

この井戸端会議のメインMCとして、小学生の時に、草津市こども環境会議に参加し、環境に興味を持たれて、現在、「国立研究開発法人 国立環境研究所」で「社会システム領域 研究員」として活躍されている畑 奨さんを昨年度に引き続きお迎えしました。各グループのファシリテーターを国立環境研究所 対話オフィスの渡邊さん、滋賀県立大学徳満研究室の廃棄物パスターズの皆さん、立命館大学BKCCのIVUSAの皆さんにお願い



し、草津市環境教育部会およびプロジェクト委員の先生方にも進行補助として御協力いただきました。「地球にやさしい〇〇なこと」をテーマに、地球でおこっている環境問題や気候変動、地球温暖化の原因とそれによる影響と対策（じぶんたちができること）について、畑さんからお話を聞きました。その後、「地球にやさしい〇〇なこと」についてチーム別に会議をしました。

各チームの意見

- ・グリーンカーテン、ヨシのすだれを使って部屋の中を涼しくする
- ・無駄な電気を消費しない＝節電する
- ・川の汚れを微生物で解決する
- ・好き嫌いをせず食べ、給食やご飯を残さない
- ・温暖化との関係で牛乳のストローを使わない
- ・お風呂は続いて入り、残り湯は洗濯に使う
- ・車ではなく、自転車を使って通勤、通学する
- ・エコバック、マイ箸、マイボトル、物を長く使う
- ・エコ活動を伝え、環境の意識を持つ人を増やす
- ・3R（リサイクル・リユース・リデュース）を意識する
使わなくなったものを人に譲る、物を再利用する、捨てることを考えて買う

- ・今日から、自分たちの生活でできることに取り組む
- ・個人、学校、社会で、それぞれでできる活動をする
- ・楽しく分別できるような工夫したシステムを作る
→ポスターで提起する
- ・地場野菜を食べる
- ・ポイ捨てをしない、ごみ拾いをする
- ・社会でできることとしてゴミ箱を分かりやすく設置する
→設置にかかる費用を募金活動を行うことで啓発につながる
- ・景観保護の観点から、地域由来の材料の利用、ヨシや間伐材の利用、デザインの工夫、自然由来のものを使う。人手不足の林業従事者の助けになる可能性もある
などが発表されました。



まとめ

- < 畑さん >
- ・食の部分に関する環境負荷、食べ残しを減らして環境負荷を減らそうということがどのグループでも話題にあがっていた。
 - ・食の環境負荷は大きく、我々が排出しているCO₂の3～4割ほど（年間で排出している7トンの内の1トン程度）の排出が食から出ているといわれている。そのうち食品の廃棄（食べ残し、食べられずに店の廃棄）は3割程度。
 - ・2050年に脱炭素という目標があるが、目標達成のためには私たちのCO₂排出量を7トンから3トン、約半分にしないと行けない、そのうち1トンほどを食品廃棄が占めている。大きな問題。
 - ・今食べ残していない人はどうしたらいいの？個人でできる部分はもちろんしていかないといけない。スーパーでの廃棄、農家で食品の価格を維持するために廃棄されている部分は、個人ではどうにもならない。
 - ・こういう問題があることを、個人も社会も認識し、解決するためにどのような社会システムを作らないといけないか。そういう話し合いをいろいろな所でやらないと環境問題は解決できない。

- ・今日、大人とこどもで話し合うことは、その問題に気づくという意味ですごく大きな役割を持っている。
- ・いろいろな意見がでて、どうすればよいかとどんどん深めていくことを、こども環境会議を通して増やしていければ良いと思っている。

今日みなさんが話したこと、気づいたことを周りの人に話を広げて、どんどん広がっていき、最終的に社会がより良い方向に進んでいきます。環境問題以外にも、少しでも今よりよい社会になっていく最初の一步に、このこども環境会議の場があれば良いと思っています。



閉会セレモニー

表彰式

堀竹宏彰草津ライオンズクラブ会長から「ヨシの素晴らしい研究発表、大変勉強になりました。引き続き環境保全に努めていただけたらと思います。」の言葉とともに、取材ラリーに出展したすべてのこどもグループを代表して「老上中学校2年生」に「草津ライオンズクラブこどもエコ奨励賞」が贈られました。



合唱

「草津市こども環境会議」テーマ曲
空の向こう側～南極の氷まで～

[KUSATSU BOOSTERS]
作詞作曲 佐合井マリコさん

～佐合井さんより～

「毎年草津市こども環境会議に参加して、こどもたちが本当に熱心に活動されていて、今年のこどもたちがどんなことを考えたのかなど、とても楽しみにしていると共に、勉強させていただいています。こどもと大人の環境井戸端会議で、一人の考えからスタートして話し合い、考えたり、やってみようと思ったり、小さな一歩が大きく繋がっていくのどと感じました。ずっと考え続けていくことが大切ですね。

環境にいいことをやってみよう、と思う時って自分の心の中に余裕がある時だと思うんです。自分の中に優しい気持ちをたくさん持つことが、大事なんじゃないかな。そんなことを思いながら作った歌です。」とのメッセージをいただき、環境についてみんなで考え続けていこうという決意を込めて合唱しました。

閉会挨拶

東英一郎副実行委員長より

「第24回草津市こども環境会議交流の部で、多くの方と意見交換をし、取組を見させていただきまして、未来の環境保全につながるのと感じました。今日だけではなく継続してやることに意味がありますので、決して忘れずに、できることを続けていきたいと思います。今後の展示の部や、YouTubeでの情報発信の部での動画配信もございますので、ぜひご覧いただきたいと思います。本日取材に来ていただいていますBBC「未来スケッチ」の放映もございますので、そちらのほうもご覧ください。来年は25回という節目の草津市こども環境会議です。25回、26回、30回、100回と続くように、草津、滋賀県、地球の環境保全に取り組んでいただきたいと思います。」との挨拶を受け、第24回草津市こども環境会議交流の部の幕を閉じました。



展示の部

環境学習や環境活動の様子を壁新聞やパネル等にまとめた掲示物を展示しました。

- 令和8年(2026年)2月4日(水)～2月17日(火) (日曜日、祝日を除く)
くさつエコスタイルプラザにて
- 令和8年(2026年)3月7日(土)・8日(日)
イオンモール草津 2階イオンホールにて

